



大山詣りと大山街道

(全二回)

講師 國學院大学博物館 教授 深澤太郎氏

神奈川県伊勢原市の大山は、相模大山信仰の中心地。陸路・海路の目印でもあり、雨降山の別称でも知られる雨乞いの山でもあり、山頂の巨石を拝する石神信仰の場でもあります。

律令国家によって「阿夫利神社」が祀られ、古代・中世を経て「石尊大權現(本地十一面觀音菩薩)」の信仰、雨降山大山寺不動明王の信仰や、これらを核とした修験道が盛んとなっていきます。さらに近世には、登拝行が民衆に開かれ、多くの参詣者が「大山街道」から大山を目指しました。

この講座では、前提として日本における山岳信仰の歴史をかえりみた上で、大山信仰の成り立ち、大山に至る街道の姿などについて、考古・歴史・民俗学的な視点から俯瞰していきます。

第一回 2月20日 山岳信仰と民衆

第二回 3月 6日 その歴史と参詣路

どちらも金曜日 14時~16時

各講座の概要は裏面をご覧ください。

【会場】大和市文化創造拠点シリウス6階 大和市生涯学習センター601講習室

【定員】40名(先着) 【対象】どなたでも(大和市内在住・在勤の方優先)

【受講料】各回1,000円

【申込】1月17日(土)10時から受付開始

お電話または大和市生涯学習センター窓口へ。

☎ 046-261-0491

市外の方は、お席に空きがある場合、1月23日(金)10時から

お申込みいただけます。右のQR、お電話または大和市生涯学習センター窓口へ。



大和市生涯学習センター

〒242-0016 大和市大和南1-8-1 / お申込・お問合せ 046-261-0491

小田急江ノ島線・相鉄本線 大和駅から徒歩3分

◆天候や交通機関の運行状況及びその他やむを得ない事情により開催中止となる場合があります。
◆駐車場の数に限りがありますので公共交通機関でお越しください。



第一回 2月20日（金）山岳信仰と民衆

大山は、在地のランドマークというだけではなく、東日本有数の山岳霊場としても知られていますが、そもそも我が国の山岳信仰・修験道や、山岳霊場とは一体どのようなものなのでしょうか。また、人々が山に至る道や、信仰の組織は、どのように形成されたのでしょうか。第1回目は、大山信仰を探る背景として、日本の山岳信仰史を概観します。

第二回 3月6日（金）その歴史と参詣路

実は、先史時代から人間の活動痕跡が残ってきた大山。そして、ここに律令国家による官社の祭祀や、山岳寺院・修験の信仰が重なっていきました。さらに、近世には多くの民衆が大山を目指して参詣する「大山詣り」が大流行します。第2回は、大山そのものに焦点を当て、地域史的大山信仰や、大山に至る街道の姿を見ていきましょう。

●講師プロフィール●

深澤太郎氏

1978年生まれ。國學院大學大学院文学研究科博士課程後期単位取得退学。考古学・宗教考古学。日本の古代国家と神道の形成過程や、修験道の考古学的研究に取り組む。東京国立博物館学芸部考古課事務補佐員、國學院大學文学部考古学研究室助手などを経て、國學院大學博物館教授。

